

SF漫画 の 作りかた

山田胡瓜の場合



先生は1話完結の
SF短編を
たくさん作って
きましたが
どうやってお話を
思いつくんですか？



いろんな
ニュースを
見てると
自然にそれが
ネタの
元になる

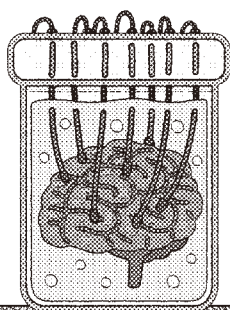


やれ自動運転だ
BMIだ
拡張現実だと
SFじみた話題が
日々ニュースに
なっているからね



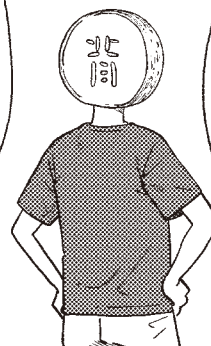
「普及後にどんな
問題が起きるか」
「人々の価値観が
どう変わるか」
みたいなことを
考えるんだよ

たとえば……
「自分に最適化された
ストレスのない
VR空間で暮らしたら
人間は現実を重視
しつづけるんだろうか？」
みたいなことを思いつく



ボクはVR
だけでOK!!

「VR空間を
重視する人も
多いだろうなあ」
と思うが……

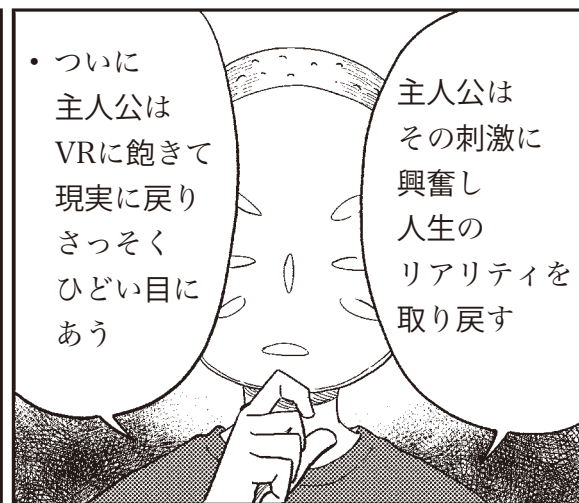
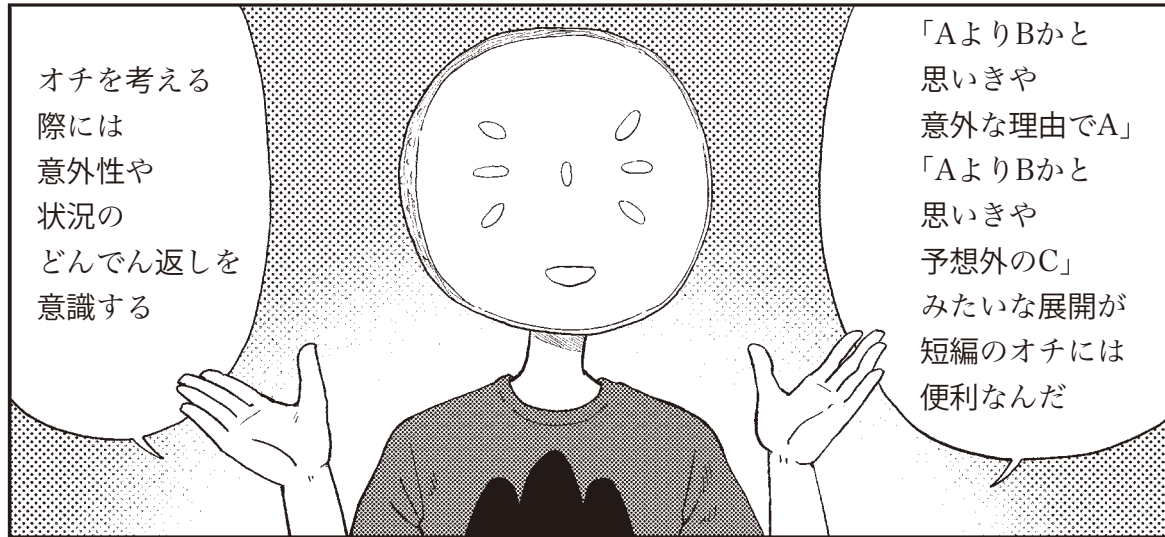


もうちょっと
「オチ」に
つながる
何かが欲しく
なるよね？

欲しくなる
って感覚が
よく分からない
のですが……



時間が
ないから
無視して
説明を
続けるぞ！





なんか
話が複雑で
面白く
ないです！

創造主を
否定!!!



現実が悪者
みたいで
あんまり感動
できないです



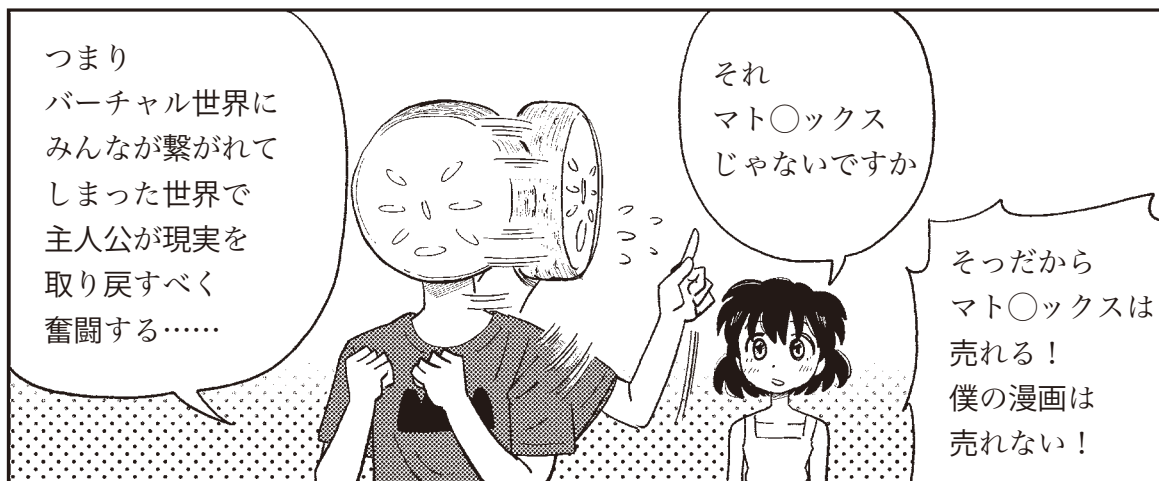
現代人は現実を
生きているから
現実が軽視される
物語には
共感しにくい

こういうのは
未来の価値観を
描こうとすると
ぶち当たる
ジレンマだ



では多くの人に
エッセンスを届ける
エンタテインメントを
作るにはどうすれば
いいのか……

僕は
新しい価値観を
敵側に据える
「ディストピアもの」
に仕立てるのが
手段の1つだと
思っている！



つまり
バーチャル世界に
みんなが繋がれて
しまった世界で
主人公が現実を
取り戻すべく
奮闘する……

それ
マト○ックス
じゃないですか

そっだから
マト○ックスは
売れる！
僕の漫画は
売れない！

おわり